

月刊 岩田会計 第45号

平成22年10月1日

税理士 岩田英人

平素はお世話になりどうもありがとうございます。

ようやく涼しくなり、すごしやすい毎日となりましたが季節の変わり目ですので、体調管理にはくれぐれもご留意くださいますようお願い申し上げます。



【平成22年10月号】自社を知ること

皆さんは自社のことをどれだけ知っていますか？

何を売っていて、何が強みで、何が弱みで、どういうお客様がいて、
どういう人材がいて、どういう財政状態で、どれだけの利益をあげていて、
そしてどういう計画で動いているのか、などなど。

外部環境や内部環境の分析と把握をするとともに、まずは自社の決算書をしっかり理解しましょう。

決算書は会社の成績表とも言われています。

すべての経営判断に基づく取引が決算書には現れてきます。

私たちは決算書を見せていただきお話しをお聞きすると
大体のことをつかみ取ることができます。

会社の癖も読み取ることができます。

これらを何年分か横並べにして趨勢を読み取っておくことも大切です。

ですが、これらはすべて過去のこと。

ここから将来の会社の決算書を創っていきましょう。

将来どんな会社にしていくのか？

全社員が一丸となって前向きに取り組んでいける未来決算書。

経営計画書の一部ですがその果たす役割は非常に大きいものです。

岩田会計事務所は過去と未来をつなぐ今のパイプ役として皆様の真の成功を共に追求し続けていきます。

岩田会計事務所は経営理念策定・経営計画策定・経営計画遂行支援に力を入れて取り組んでおります。お気軽に声をかけてご相談ください。